

教育委員会議事録

令和4年9月定例会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(令和4年9月定例会)

- 1 日 付 令和4年9月22日(木)
- 2 場 所 えびなこどもセンター301会議室
- 3 出席委員 教育長 伊藤 文康 教育委員 平井 照江
教育委員 酒井 道子 教育委員 濱田 望
- 4 出席職員 理事(教育担当) 小宮 洋子 教育部長 中込 明宏
教育部次長 江下 裕隆 教育部専任参事 萩原 明美
教育部参事兼教育総務課長 西海 幸弘 教育部参事兼就学支援課長兼指導主事 山田 圭
教育部参事兼教育支援課長兼指導主事 坂野 千幸 教育支援課教育支援担当課長兼指導主事 浅井 大輔
学び支援課長 山田 敦司
- 5 書 記 教育総務課総務係長 小林 亮介 教育総務課主事 湊 大輝
- 6 開会時刻 午後2時00分
- 7 付議事件
日程第1 議案第26号 令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表及びその方法について
日程第2 議案第27号 令和4年度海老名市奨学生選考委員会への諮問について
- 8 閉会時刻 午後3時11分

○伊藤教育長 本日は武井委員が欠席ですが、3名、私も含めて4名で定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会9月定例会を開会いたします。本日、傍聴はございません。今会の署名委員は、酒井委員、濱田委員にそれぞれよろしくお願いいたします。

○伊藤教育長 初めに、教育長報告をいたします。主な事業報告でございます。

8月19日（金）は、前回の教育委員会8月定例会がございました。

23日（火）は、社会教育委員会議、また、ひびきあう教育研究発表大会がございました。それから、成人式実行委員会、第1回が行われたところでございます。

24日（水）は、校長連絡会、市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議、人権教育研修会がございました。

25日（木）は、市長定例記者会見、海老名市通学路安全対策委員会がございました。あそびっ子クラブパートナー長会議がありました。

26日（金）は、抗原検査キット学校配布がありました。今、行われている修学旅行に持参して、発熱があったら、抗原検査キットで検査を行って、同時に何人か症状が出るようでしたら、同じ部屋の子を抗原検査キットでその場で検査するというので、そのために配付したところでございます。

27日（土）は、単P会長会、PTA本部役員交流会ということで、PTA本部の方々に集まってもらって、皆さんで情報交換を行いました。

続いて29日（月）は、第二学期始業式、朝のあいさつ運動（中新田小学校）に行きました。修学旅行実施検討会、ここまでは全て、3校、4校、予定どおり実施されているところでございます。台風の影響もそれほどなく、無事に修学旅行に行ってきました。続いて、まちづくり戦略研修会がございました。今年は消費者庁の元長官、女性の方が来てお話をしてくださいました。

30日（火）から市議会第3回定例会本会議（開会）ということでございます。同じ日に、初任者研修デイキャンプということで、こどもセンターの3階で行いました。また、連合運動会実行委員会がございました。

31日（水）は、用務員会議がございました。また、えびなの教育編集会議を行いました。次号の「えびなの教育」は何月に発行予定ですか。

○教育総務課長 11月です。

○伊藤教育長 11月1日号ですね。それを今、作っているところでございます。

9月1日（木）は、9月校長会議でございます。代表質疑市長ヒアリングがありました。

2日（金）は、海老名中学校吹奏楽部激励ということで、文化会館に応援に行きました。

3日（土）は、S C相模原ドリームマッチということで、海老名市もS C相模原のサポートというか、応援する市になっていまして、元全日本代表選手が中学生と試合をするということで、有馬中学校の子どもたちが4人参加していました。有馬中学校のキーパーが全日本のストライカーを1対1で防ぐ大活躍を見せてくれました。

4日（日）は、宇都宮市まで海老名中学校吹奏楽部東関東大会応援に行きました。金賞でしたが、代表にはなれませんでした。代表は全て千葉県の学校で、それ以外の県で金賞を取れたのは恐らく海老名中学校だけだったのではないかなと思います。

5日（月）は、市議会第3会定例会本会議（代表質疑）がありました。また、修学旅行実施検討会があつて、市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議、併せて台風情報連絡会が1回ありました。

6日（火）は、学校ICT活用推進委員会がありました。

7日（水）は、一般質問市長ヒアリングがありました。また、白石市立福岡中学校と有馬中学校の交流会ということで、修学旅行で福岡中学校の子どもたちが有馬中学校に来て、有馬中学校の3年生と交流会を開きました。以前は海老名中学校に小原中学校の子どもたちが来て交流しましたので、今年は白石市立の学校2校が修学旅行でこちらに来て、海老名市立の学校で交流会を開いている状況でございます。

8日（木）は、9月教頭会議がございました。また、よりよい授業づくり学校訪問（大谷小学校）に行きました。それから、「学校の新しい生活様式」ガイドライン改訂ということで、これはどういうことかということ、療養期間が7日間に短縮されたことを受けた改訂でございます。10日までは注意が必要ですが、そのことでガイドラインの改訂をしたところでございます。

9日（金）は、臨時校長会議、修学旅行実施検討会があつて、十五夜豆腐贈呈セレモニー（中新田小学校）を行いました。有限会社富塚商事から今年も小学校全児童に豆腐を配布いただきました。セレモニーの写真が上に載っております。また、部活動推進協議会がございました。

12日（月）は、文教社会常任委員会・予算決算分科会（補正予算）があつて、私は傍聴していました。

13日（火）は、教育課題研究会で、皆さんに来ていただきました。

14日（水）から16日（金）は、市議会第3回定例会本会議（一般質問）がありました。

また、15日（木）は、今泉中学校合唱部激励に行きました。今泉中学校は新潟で開催された関東大会に出場したのですが、結果は銅賞ということでした。でも、合唱は実はとて厳しくて、東京都とか、様々な学校が、私立も含めてかなり力を入れているので、よくその中で関東大会に出場できたなと思っているところでございます。

18日（日）は、海老名中学校区青健連オアシスポスター審査会に行つてまいりました。

20日（火）は、ご承知のように台風対応により小中学校の始業2時間遅れとしたところでございます。社会教育委員会議がありました。よりよい授業づくり学校訪問特別版（社家小学校）がありました。夜はMOA美術館海老名市児童絵画作品展実行委員会がありまして、今年の応募が1,000点を超えている中から、代表を2点選んだところでございます。

21日（水）は、昨日ですが、校長会予算要望ヒアリングを行ったところでございます。校長会の予算担当の校長先生が5名来られて、説明を受けたところでございます。臨時最高経営会議がありました。市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議がありました。それから、今度の連休にまた大雨が来るとということで、大雨に関する情報連絡会があったところでございます。情報によると台風15号になるかもしれないので、お彼岸の3連休ですが、そういう状況でございます。

本日、22日（木）は、教育委員会9月定例会で、午前中に櫛ロータリークラブ大ケヤキ草刈りがありました。地域の方にああやって掃除していただけるのは本当にありがたいことだなんて思っています。私のイメージだと、東京等の高いビルがたくさん建っている中でも、そこに昔のものが存在していて、そこに住んでいる地域の人たちがそれを大事にしている光景って、すごく良い光景で、相模国分寺跡の横にマンションが建つからという意味ではなくて、周りがどのように変わろうが、何をしようが、自分たちが大事にしているものを地域の皆さんで大事にすることは良いことだなと感じたところでございます。

それでは、主な事業報告について何かありましたらお願いいたします。

○酒井委員 2つです。

今泉中学校の合唱部の子が、教育長が激励に来てくれるのだと言っていて、すごく楽しみにしていたという話を子どもから聞いて、来ていただいた後も教育長が来てくれたと言つて、すごく喜んでいたというのを聞きましたのでご報告させていただきます。

○伊藤教育長 ありがとうございます。

○酒井委員 もう1点は、台風が来て、学校の木の倒木等は大丈夫だったか、聞かせていただきたいのですが、大丈夫でしたか。

○教育部長 急遽学校を点検で回りましたが、そういう報告は来てございませんので、今のところは大丈夫です。

○酒井委員 安心しました。ありがとうございます。

○伊藤教育長 2年ぐらい前に上星小学校の大きな木が2本折れてしまって、道路に出て電線を塞いでしまって、それ以来、教育委員会も学校の樹木、台風が来て危ないものについては点検して対応しています。そのような措置はしていますが、本当に強さによるから。有馬小学校のハルニレの木は、もし倒れたりしたら、あの辺は大変なことになりますから。でも、そのような点検は常にしております。

○教育部長 先ほどの修学旅行ですが、本日、東柏ヶ谷小学校が戻ってこられますので、全部で6校になります。

○伊藤教育長 ありがとうございます。

○平井委員 では、その修学旅行に関連して、海老名市も統計を見ると大分感染者は少なくなっているのですが、修学旅行の子どもたちの参加率はどうだったのかということと、修学旅行はどんな状況の中で実施されたのでしょうか。

○教育支援課長 参加率はとても良いです。ただ、どうしても陽性になってしまった子とか、濃厚接触者になってしまったという子は欠席することもあるのですが、去年のようにコロナ不安で行かせませんというケースは、今回はございません。修学旅行の感染対策については修学旅行実施検討会でも十分検討させていただいて、学校の感染対策を確認して行っているというので、そこは十分に対策を講じて安全な修学旅行になっているところではあります。

○伊藤教育長 今、感染者数はぐっと減りました。10月になったら、去年みたいにまたゼロになるのではないかなと思うぐらい、毎日の報告を見ているととても少ないです。通常の修学旅行は、全員出席の学校もあるし、例えば複数名、10人近く欠席することはなくて、あっても1、2名です。

○濱田委員 8月29日に行われたまちづくり戦略研修会、先ほど元消費者庁長官がお話ししたとありましたが、何のお話だったのですか。

○教育担当理事 SDGsの話だったのですが、もっと行政的な話かと思ってたいたとこ

ろ、私でも本当によく分かるような、リサイクルの取組が今どうなっているかとか、そういう具体的なお話をいただいたので良かったです。

○伊藤教育長 元長官とは、その後少しお話をしたのですが、要するに官僚という社会の中で、女性のトッププランナー的な立場でずっと進んできた方なので、もう本当に歯切れが良くて、しっかりされていて、話も面白く展開するし、次から次へとスピード感があって、ああ、こういう人たちが将来をけん引していくのだなということは、人となりを見て非常に感じたところです。

○濱田委員 分かりました。

○伊藤教育長 それでは、よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 続きまして、今回は「議会对応について」ということで書いております。私も学校教育課長のときに「参事」という役職になって、議会に出席したのですが、その頃に4年ぐらい、その後、8年以上出ているのでしょうか。いろいろなことがありました。自分で数えても300回以上は議場に座って対応していたところでございます。今は私と教育担当理事と教育部長、教育部次長と教育支援課長で対応しているのです。そういう中で一般質問等あるのですが、私は、最初に市役所に配属されたときは指導主事でしたので、平井委員も覚えていると思いますが、違った世界に来たなと思っていて、一番違った世界、違和感を持ったのは議会对応なのですよ。

4月の最初のうちは、みんな慣れない事務の仕事とかでも一生懸命起案をつくったりして、それはそれである程度楽しみにやっていたのですが、議会になったら急に部長たちの目の色が変わるのですね。課長たちも、やけに張り切っている。これはどういうことなのだろうと思って。

配属からもう2か月もしないうちに6月議会が来るから、答弁書を書くのだと言って、先輩たちに教えてもらって、使ったこともない「何々でございます」とか、そういう言葉を使って文章をつくらなければいけない。しきたりも、丸を書いて、1つ空けてどうだとかというのがあって、その頃は、教員は、給料等の関係で配属される際の役職は主幹だったのです。そうすると、常任委員会等にも出ることになるのですよ。議員の鋭いこととか、やり取りがすごくて、何で市役所はこんなことをしているのだろうなど当時は思ったのですが、今になって、自分がそういう立場になると、ああ、やはりこれは力を入れるべきことなのだなと思っています。

最初のうちは四苦八苦していました。本当に様々な議員がいらっしゃるのですよ。会派によって様々な意見があるので、いくら頑張っても説明しても、相入れないこともあるのです。でも、そういう中でやり取りをしているのですが、やはり議員は全て市民の代表者なのです。選挙で市民から選ばれたというのはすごく大きなことです。なので、その方々を尊重して、できれば、私たちは、その方々と議会でやり取りするときは良い形で終わりたいないつも思っていて、そのために、事務局職員が一生懸命調整してくださるのです。

ただ、最近、最後のここが大事なのですが、私自身は議員対応をするというよりも、その向こうの市民を相手にしようという気持ちでいるので、議会は自分たちの考えや思いを公的に公表できる場だと捉えています。紙に書くのではなくて、議員とのやり取りの中でそれを言えるので、すごく大切な場だなと思っていて「議員の方々には、申し訳ないですが、私は、その立場を尊重しながらも、議員を活用して、市民に、教育行政の長としての自分の考えや思い、職員の努力を伝えたいと考えています」ということなのです。

今は決算議会ですので、去年の施策とか事業について認定されるかどうかで、これが一般企業なら自分たちの成果をすごくアピールして、次の営業へつなげるのですが、役所はそういうところではありません。私としてはそんなことは関係なく、職員はこれだけやったのだということを言いたいというか、これだけ海老名市の教育行政で職員たちは頑張っていることを伝える場所。そうやって市民に分かってもらいたいなと思っ、議員には申し訳ないですが、対応していますということをごここでは伝えているところです。

30日に閉会ですが、実を言うと、来週の月曜日が決算審査なのです。私はその場に出られないので、傍聴するのですが、職員はみんなしっかり準備してきているから、自信を持ってやり取りをしてほしいなと思っ、それを聞いている市民に、ああ、海老名市教育委員会、教育部はよくやったなということ思ってもらえるように期待をしています。

○濱田委員 確かに教育長のご意見はごもっともだと思います。もし、やってきたことに対して否定するような言い方をされても、絶対熱くならないで、前向きに、相手の目を見て、適切に答弁していただければと思います。

○伊藤教育長 分かりました。

それでは、よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、教育長報告を終わります。

○伊藤教育長 それでは、審議事項に入ります。

日程第1、議案第26号、令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表及びその方法についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 資料1ページをご覧ください。議案第26号、令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表及びその方法についてでございます。こちらにつきましては、令和4年度全国学力・学習状況調査結果について、公表を行うこと、また、その方法を定めたいことから議決を求めるものでございます。

資料2ページをご覧ください。1、趣旨でございます。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析いたしまして、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てるため、令和4年4月19日（火）、小学校6年生及び中学校3年生に「全国学力・学習状況調査」を実施いたしました。

海老名市におきましては、まず1点目といたしまして、ひとりひとりの児童・生徒が、自分自身を改善する、2点目といたしまして、学校が指導の改善に生かす、3点目といたしまして、海老名市教育委員会が教育施策の改善に生かす、4点目といたしまして保護者・市民に公表し、学習習慣や生活習慣の改善に向けて協力を得る。以上4点を目的といたしまして、調査結果を公表したいものでございます。

併せまして、公表の対象及び方法につきましても、以下のとおり定めたいものでございます。2、公表の対象及び方法でございます。(1)、公表対象といたしましては2点ございまして、1点目が海老名市の結果、2点目が各校の結果でございます。

(2)、公表方法といたしましては5点ございます。1点目といたしまして、全国学力・学習状況調査結果冊子を作成いたします。こちらは(1)で申し上げた結果をそれぞれ冊子として作成するものでございます。

2点目といたしまして、市結果説明会をオンデマンド配信いたします。こちらは、教職員、保護者及び市民を公表の対象としてございます。

3点目といたしまして、SumaMachi での配信という形で、各校の結果冊子を配付いたします。こちらは実施学年の保護者を対象としております。

4点目といたしまして、海老名市ホームページで各校の結果冊子及び市の結果冊子を公表いたします。こちらは2点目と同様に、教職員、保護者及び市民を対象としてござい

す。

さらに、5点目といたしまして、市役所情報公開コーナーに市結果冊子を配架いたします。こちらは市役所に来庁される市民を対象としてございます。

3、今後のスケジュールでございます。11月22日の定例教育委員会で公表内容ということで、結果冊子の内容についてご決定いただきます。11月28日に市結果説明会をオンデマンド配信いたします。

なお、こちらは12月末まで視聴が可能となっております。視聴した教職員からアンケートを提出していただきます。その後になります。12月9日に実施学年の家庭に各校の結果冊子をSumaMachiで一斉に配信いたしまして、同時に市のホームページに各校の結果冊子及び市の結果冊子を公開いたします。

説明は以上でございます。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明に対しまして、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

○酒井委員 保護者に対してはSumaMachiでの配信ということで理解しているのですが、恐らく皆さんスマホで見られる方が多いと思うので、画像が小さくなり過ぎないようにしていただきたいです。

○教育支援課長 SumaMachi 配信のデータの件につきましては、委員のおっしゃるとおり配慮して、内容を変えずに読みやすい大きさを検討して配置してまいります。

なお、昨年度と比べて大きく変わったところといたしましては、2、公表の対象及び方法についての(2)、公表方法の2つ目の丸です。市結果説明会をオンデマンド配信する。昨年度は教職員のみ対象で行っていたのですが、これを、保護者、市民も対象としております。内容としては冊子のままなのですが、それを分かりやすく指導主事が解説することで動画に生かしていけたらと思っています。

○伊藤教育長 配信については配慮するというので、あとは説明会を去年は教職員だけだったものを市民の方や保護者の方にも見ていただいて、指導主事が分析していますので、市の結果、かつ教科の結果についても見ていただいて、ご理解いただくような形ということで進めたいと思います。

○酒井委員 もう少し基本的なところに戻ると、各校の結果は例年どおり文章で表現して、市の結果と全国平均は数字を出して比較するという形の公表で間違いはないですね。

○教育支援課長 はい、そのとおりです。

○酒井委員 分かりました。

○伊藤教育長 結果、そして生活状況調査なので、いろいろな質問に対して子どもたちが、学習も含めて、生活様式はどうだということもとても大事な部分になるかなと思っていますが、結果を公表することの意義としては、よく言われるサイクルで考えると、次につなげることが1つの大きな課題となると思っています。結果、はい、こうでした、でošimaiではなくて、次はこのように取り組んでいきますというか、こういう教育行政に生かしますとか、学校であっても、だから、我々の小学校では今後このように学習指導を展開しますとか、そういうことがもう少し明確になったほうが良いのかなと思っています。だから、家庭の協力を得てこの辺を改善したいということは、手法も含めてしっかりと表現できると良いなと思います。

○酒井委員 やはり生活習慣、学習習慣と成績に対する相関性というのは大きいのだなというふうに、毎年資料を説明していただいて、分かりやすく結果に出ているので、そういうことを保護者の方により理解していただいて、一緒に協力しながら子どもたちの学力向上を図っていけるような説明会になると良いなと思います。

○伊藤教育長 ただ、学習指導に成績等を入れるのは少し課題があります。教員たちの中でもあるのですが、改善の方法として、1つは教員たちが教育指導として全校統一で共通理解を持って、この点を十分に進めるとか、1時間の学習の中でこの部分をみんなで、協調してでも良いから、共通の取組をしていくとか、そういう学校の方向性が子どもたちに移ると全然違ってくるのです。例えば各学校の話合いの中でも。だから、うちの小学校はこういう結果で、次年度から教職員全体でこのことをメインとして取り組んでいって、要するに子どもたちの理解力を高めますとか、そういう目標設定ができると本当に良いのかもしれません。

○濱田委員 スケジュール感を聞きたいのですが、小学校6年生、中学校3年生に、4月にこの調査を実施するのですよね。その結果がこれから先の公表となりますと、例えば中学3年生なんかは、本来はもっと早めに結果が出て、改善するところは改善していくというほうが効果的ではないかと思うのですが、これだけ時間がどうしてもかかってしまうのですか。

○教育支援課長 資料2ページの1の趣旨の中で①から④までであると思うのですが、①につきましては、子どもたちに早い時期に結果を返していますので、子どもたちが自分自身を改善するということについては個人の結果をもって可能となっているところですが、②

から④までがここで提案しているものですので、学校が指導の改善に生かしたり、教育委員会として教育施策の改善に生かしたりするために、この分析と改善方法をお示しするのが今回の大きな目的となっています。

○濱田委員 分かりました。

○伊藤教育長 でも、スケジュール感で言うと、文部科学省から速報が出るのはいつですか。

○教育担当理事 今年は7月21日。

○伊藤教育長 7月末ぐらいに速報値で出てくるのですよ、結果が。各学校にも同じように速報として、7月末に情報は行きますか。

○教育担当理事 今年は7月26日に学校に結果が届きました。

○濱田委員 児童生徒にはいつ頃それが行くことになりますか。

○伊藤教育長 9月頃です。

○濱田委員 先ほどおっしゃられたように改善に役立たせるためのデータはいつ頃個人に行くのですか。

○教育担当理事 夏休みに入ってしまったっておりますので、教育委員会からの文書をつけて、9月いっぱいには各校で子どもたちに個票を渡すことになってございます。

○濱田委員 実施自体は4月なのに、そんなに早くないのですね。

○伊藤教育長 全国的な調査で、採点から全て委託業者がやって、その結果が7月末ぐらいに出てくる。それでも早くなっていて、教育担当理事が言っていたように、以前は8月にならないと出てきませんでした。そのようなサイクルなので、ここから各自治体で分析を始めると、これぐらいの日程になるのかなというのが実際のところですよ。

○濱田委員 では、自分自身を児童生徒が改善するには少し時間がかかってしまうということかな。もっとスピードアップするとか、何か改善の余地はあるのですか。全国の調査だから難しいかもしれませんが。

○伊藤教育長 具体ではないですが、この調査自体が、国は1つの国策として、今後の教育施策や教育の方向性を見いだすための毎年の蓄積資料としてとってあるので、この中で、例えば考える力の問題を出しましたが、それに対する正答率が非常に低ければ、そういう指導を国として行っていくというように、次にどんな教育を進めていくかのデータが必要だということなのです。だから、どちらかというと、本来ならもっと活用できそうな気がするのですが、個票そのものをデータ化して、個別に子どもに対して丁寧に指導するとい

うことについては主にはなっていないのです。

ただ、1人1人の個票についてはちゃんとお返ししますが、それをもってどう改善するか。本来なら担任の先生方から1人1人渡して、君はこうだったよね、この点数はこうだから、2学期からこの辺の勉強を頑張ろうな、というように、文部科学省は現状ではそういう指導をしるとは強く出していません。どちらかという、各学校が、その学校の課題とか、全体の指導の流れを改善するための1つの資料としてほしいという意味が大きいのです。

○教育担当理事 例えばその結果が来て、夏休みを挟んだとしても、9月から、学校としても3か月ぐらいかけて分析します。分析だけであれば1か月ぐらいでまとめるほうが良いとは思いますが、具体的に言うと、私が去年まで学校にいたときには、まず1か月ぐらいかけて分析して、どういう問題が苦手なのか。その間違え方がどういう間違え方で、どうしてなのだろうというのをまず何人かのチームで分析した後に、毎年同じようなところが、今年の6年生の特徴というよりは、有鹿小学校の子たちはなぜか同じ、子どもたちが替わっても同じような特徴が出てくるので、そこについて1年生から6年生まで、授業でどんな取組をしたら、そこが改善できるのかを検討します。そういう形で、どちらかという、6年生の子どもたち個人に返すというよりは、本当に学校の授業体制のためにというふうになって、どうしても学年ごとに話し合ったり、職員会議で話し合ったりして、3か月程度はかかるかなという、そのような形で取り組んでおります。

○酒井委員 保護者の立場から言うと、実力テストのような、業者さんがやっている模試みたいなのも学校でやるので、どこの単元が苦手だとか、そういうことは結構スムーズに返ってくるものがあります。そこと併せて、弱点、足りていないところとかを、個人的に振り返る機会は、市の学校教育で実施している中で確保されているかなと思っていて、少し性格が違ってきているので、どちらかという、統計を取って、学校全体を改善させる教育内容、教育担当理事がおっしゃったようにやるというほうに、どちらかという軸足がある試験なのかなと思っています。

○濱田委員 スピード感、スピード感と先ほどから言っているのは、もしかしたらタブレットか何かを使ってスピードを上げることができないかという思いもあるのですが。

○教育支援課長 来年度以降なのですが、現在、文部科学省で実施している全国学力・学習状況調査をデジタル化する動きが実はありまして、来年度は英語があるのですが、中学校の英語の、話すことに関する調査については、1人1台端末を使う方向で進められてお

ります。将来的には全てがデジタル化されて、国の分析ももっと早くなることが期待できると考えております。

○濱田委員 分かりました。

○伊藤教育長 文部科学省はもうそのつमりのようです。あと数年のうちに1人1台端末の整備が全国的に完了するので、その環境をつくっておかないといけません。

○酒井委員 スピーキングのテストをするのですか。

○伊藤教育長 そうです。スピーキングをタブレットで行います。そうすると、濱田委員が言うように分析はもっと早くなるだろうと思います。

○濱田委員 そうすると、児童生徒へのいろいろな指導に生かせるかなと思いますので、頑張ってください。ありがとうございました。

○平井委員 教育担当理事がおっしゃったように、学校としてどのように分析して、今後の指導に生かすかというところが大きいのかなと思っています。ただ、それが各学校でなされているか。結構時間がかかるし、いろいろな項目を見ていくと細かいものがたくさんあるのですよ。でも、先ほどおっしゃったように1年生からそこに力を入れていかなければいけないので、校内研究を含めて、そういうところを本当に大事にしてもらいたいなと思います。なかなか時間がとれない中では難しいのですが、この分析以上に子どもたちの学力を伸ばしていくとか、苦手意識を変えていく手法はないのかなと思っています。結構長く続いている調査なのですが、やはりどこかでもう1回、この学力テストの学校での分析と活用という部分を整理して進めていかないと、ただ実施したという事実だけで終わってしまうのかなと思うのです。英語や道徳を校内研究で取り上げているところがあると思うのですが、ある程度一段落はすると思います。ですから、今後少しこういうところにも力を入れていって、海老名の子どもたちのために学力をつけてあげる。そういう方向をもう1度学校で振り返ってもらえる機会にしてもらえたら良いかなと思います。

○伊藤教育長 どう受け止めるかということもありまして、これはある種指導の結果なので。子どもたちの学力の結果として現れるのですが、実は指導の結果で、先生たちがどうやって指導したかの結果がそこに現れていると思うと、学校、教員としては非常に重く受け止めなければいけないのかなと思うところでございます。

ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、議案第26号を採決いたします。この件について、原案どおり

可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第1、議案第26号を原案のとおり可決いたします。

この後、11月定例会で、このように公表するということを資料等でお示しますので、それでよろしいかということは、そこでまた、皆さんにご判断いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○伊藤教育長 続きまして、日程第2、議案第27号は個人に関する情報を含む案件でございます。海老名市教育委員会会議規則第18条第1項第3号の規定により、会議を非公開としたいと思います。

それでは、会議の非公開について採決を行います。日程第2について、会議を非公開とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第2を非公開といたします。

(非公開事件開始)

(非公開事件終了)

○伊藤教育長 以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会9月定例会を閉会いたします。